

変化に対応する学びの姿勢

大川商工会議所青年部第39代会長

トヨタ設備株式会社

代表取締役 豊田 寛 さん

住所 〒831-0016

大川市大字酒見279-1

大川中央ビル102

TEL... 0944-85-8327

FAX... 0944-85-8328

今月の夢追い人はトヨタ設備株式会社の豊田 寛さんにお話を伺いました。トヨタ設備(株)は、元々設備会社ではなくプロパンガス事業をメインに営んであり、祖父、父に続き、豊田さんは三代目。豊田さんが代表取締役に就任後、ガスだけでなく幅広く対応したい思いから、平成30年4月に法人化されたそうです。改めて事業内容を教えてください。

「トヨタ設備(株)は、主に管工事業を中心に様々な事業を展開しています。管工事業とは、建物に必要な配管を設置するための工事であり、水道管、ガス管、換気・空調の配管などが含まれます。

こういった配管工事は、建物の基礎部分や床下を通り、壁や屋根を経由して行われるため、建物の着工から深く関わっています。竣工まで見届けることができるので、達成感とやりがいを感じます。管工事業は人間の体と仕組みが似ているなと思います。体で例えるならば、血液が詰まったり、悪い部分があったりするとときにはカメラを使って内部を調べ、原因を突き止めて解消するように、配管も同じように不具合を発見し、適切に解決することが求められますね。また、トヨタ設備は管工事業のほかにも、電気工事や土木工事、水道施設工事、さらにはプロパンガスの販売

など、幅広い事業を手掛けています。ライフライン全般にわたって一貫して対応できる強みを持っており、住宅や施設の生活環境を安全かつ快適に保つためのトータルサポートを提供しています。」

各時代にに応じて変化するライフラインですが、どのような経緯で事業のシフトチェンジをされたのでしょうか。

「高校卒業後は別の設備会社に就職し、その中で多くの現場経験を積み重ねて技術力を高めました。元々、家業はお茶や炭の生産と販売を行っていましたが、燃料転換期が訪れたことで炭からプロパンガスの事業へとシフトしました。父が代表のときはプロパンガ





施工・作業の様子

スがメインになっていましたね。ところが電化の時代の到来と共に、ガス事業は徐々に低迷していきました。この状況を見据えて、ガスから電気への時代になるだろうと予想し、電気に関する知識を身につけることが今後のためになると思ったんです。そこから専門学校に通い、電気工事施工管理技士の資格を取得しました。設備会社で得た経験と、専門学校で学んだ知識を活かし、より多様なニーズに対応できるようにしました。」

様々な事業をメインとしてきたトヨタ設備ですが、そんなトヨタ設備の強みはなんでしょか。

「大きな会社であれば、各部門が細分化され、それぞれの分野に特化していることが多いですが、トヨタ設備ではライフライン全般にわたって一貫して対応できるため、幅広い分野に対応することが可能です。トヨタ設備はお客様の悩みに合わせた柔軟な対応が可能であり、業者を挟まずに自社で完結するのでお待たせする時間が少なくなります。」

豊田さんは地域だけでなく都心部での仕事にも携わる機会があり、商業施設や医療施設

設などにも多く関わってきたそうです。

「個人の仕事と比べると規制が厳しい部分も多いため、しつかりと勉強をしなければなりません。仕様などは時代に合わせてどんどん変化するので、常に学び続ける姿勢が仕事をする上で大切なことだと思います。」

事業の傍ら、大川商工会議所青年部にも所属してある豊田さん。青年部に所属したことと変化が生じたそうです。

「青年部に入ってから、自分の視野が広がったと感じています。人との接し方が大きく変わりました。異業種の経営者の方々と関わることができるので、ビジネスにおける視点や価値観の幅を広げることができています。様々な立場の方々と繋がるのは本当に大きな財産ですね。」

第39代大川商工会議所青年部会長としての意気込みを聞かせてください。

「実は今年度は第5回となる九州商工会議所青年部（YEG）サッカー大会をこの大川に誘致しました。まず何よりもサッカー大会を成功させることが1番の目標です。昨年度、日本商工会議所青年部全国

大会「ほとめきFUKUOKAくるめ大会」を福岡県連で主管し、大川商工会議所青年部（YEG）としても、大川分科会や物産展を担当しました。全国から多くの参加者が大川に集い、大川の魅力を発信できたと感じています。その流れで今度はサッカー大会を通じて、各学会との絆や大川商工会議所青年部（YEG）としての絆を深めていきたいと考えています。これまで先輩方が築いてきたものを大切にしながらも、若い世代には新しい風を吹き込んで欲しいという気持ちもあります。今、私はその橋渡しの役割を担っていると感じています。若い世代はこれまでの伝統ややり方とは違った考え方を持っていて、その新しい視点が今後の組織を作り上げる力になると思っています。次の世代がさらに成長できるようにサポートしたいですし、その一助となる一年間にしたいですね。」

仕事にも青年部活動にも邁進されてある豊田さん。そんな豊田さんの夢はなんでしょか。

「大きな夢を持つているわけではありませんが、日常生活



キャラバンの様子

の中で笑顔でいられる時間が多ければいいなと思っています。自分自身が笑顔でいることはもちろんですが、それを周りの人たちにも感じてもらうような環境を作れたら素敵だなと思います。現実的な部分でいうと体を動かす現場作業から、ゆくゆくは設計などの、人に伝える業務に注力できればなど考えています。また将来的には、メンテナンスに特化した事業を立ち上げることができれば良いなども考えています。メンテナンスにおいては細かな技術が求められるので、質の高いサービスを提供し続けたいです。」